

誰にでもわかる「デザインの今」参加交流パーティー 御 案 内

東京ミッドタウン「JDBデザイン・インタラクション・パーティ」 デザイン交流 <聴く・飲む・語る> の会

「JDB デザイン・インタラクション・パーティ」は、JDB (Japan Design Bund／日本デザイン連盟) がデザインを話題の中心に、誰でもが参加できる分野横断型の話題の新プロジェクトです。

趣意は、あらゆるデザイン・ジャンルの人たち、そして、デザインや生活・社会に、高い美意識を持つ多分野の人たちのための、話題共有と交流の場の創造です。

毎回、「デザインの今」をテーマとして旬な各界講師をお招きし、前半は講演・対談、後半はワインを片手に、出会いと交流の懇親パーティーの場といたして参ります。

第1回目は、現在、東京で最も話題を集めている場でもある「東京ミッドタウン」がテーマです。6年半前の開発当初から同プロジェクトの責任者として携わってこられた三井不動産の市川俊英氏を講師にお招きし、当初の開発ストーリーから今後への展望、加えて経済機関がデザインやアートに取り組む今日的必然性などについて伺いながら、中西元男 (JDB副理事長、PAOS代表) が刺激的な対談を展開いたします。是非お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

テーマ：「東京ミッドタウンにとって、デザインはどんな意味を持ち、これから何を目指すのか」
プロジェクト起案から6年半－責任者：市川俊英氏に中西元男が聞く

講 師：市川俊英氏 [三井不動産 (株) 執行役員、東京ミッドタウンマネジメント (株) 社長]

場 所：東京ミッドタウン オフィス棟5F. DESIGN HUB
<http://www.designhub.jp/access.html>

日 時：2008年4月2日 (水) 18:30～20:30

会 費：予約参加 3,000円
当日参加 4,000円
※学生割引 いずれも1,000円引

その他：デザイン専門家はぜひ他分野の方たちをご同伴ください。

今後は、月1回 (年間10回) の開催を予定しております。

プログラムは右記テーマ案より、ご参加の皆様方のご希望の多いものを優先し実施して参ります。

また、ご参加者よりのテーマご提案も、随時プログラム候補に加えさせていただきます。

ぜひ積極的にご意見・ご要望もお寄せください。

■お申し込み／お問い合わせ先

お名前・ご連絡先・ご職業 (勤務先/学校)・紹介者 (なし/あり:氏名) をご記入の上、前日までに下記宛お申し込みください。(個人情報の管理はJDBで責任を持ち、本企画の目的以外には使用致しません)

日本デザイン事業協同組合事務局

TEL:03-5259-8311 FAX:03-5259-8312 e-mail:office@jdb.or.jp

今後のテーマ仮案 (順不同)

リクエストの多いテーマから順に講師折衝を行い、優先的に実施してまいります。
ご希望のテーマに○印をつけてお出し下さい。

080319

- | | |
|--|---|
| <p>01. 第1回
東京ミッドタウンにとって、デザインは
どんな意味を持ち、これから何をを目指すのか
プロジェクト起案から6年半ー
市川俊英氏に中西元男が聞く
***</p> <p>02. デザインビジネスって何だろう？
これからどこへ行くの？
IDから／グラフィックデザインから／
CI・ブランド戦略から／Webから</p> <p>03. Gマーク大賞（最初の総理大臣賞）受賞者の
苦労話を聞く
SANYO「エネループ」
開発裏話と受賞の歓び、その後</p> <p>04. 最新Webデザイン賞
受賞代表作品を見ながら考える</p> <p>05. グラフィックデザインは「現代アート」を
どう見るか</p> <p>06. ジュエリーデザインの世界、日本と海外</p> <p>07. これを知らないと時代に遅れる、
Web2.0ってナーニ？何か変わったの？</p> <p>08. 毎日デザイン賞受賞を機に
「この国の商業集積作興を裏から考える」</p> <p>09. CI戦略とブランド戦略、一体どこが違うのか</p> <p>10. インダストリアルデザイン、独立系／
インハウス系</p> <p>11. Gマーク金賞（経済産業大臣賞）
HONDAはなぜ飛行機をつくったの？</p> <p>12. パソコン、Mac派／Windows派</p> <p>13. デザインとマーケティング・マネジメント</p> <p>14. 今、日本のファッションデザインは？</p> <p>15. 「デザイン教育」、問題／限界／ブレイクスルー</p> <p>16. 建築コンペ、勝利の勘所／成功の勘所</p> <p>17. ウェブデザインの広がり、技術軸・表現軸・ビジネス軸</p> <p>18. 最新官公（庁）デザイン、仕組みと課題</p> | <p>19. 住宅デザイン花ざかり</p> <p>20. 日本にはジャンルすらないサイエンス・アートとは
何か、その世界</p> <p>21. どうなる？これからのGマーク</p> <p>22. 日本のデザイナーにとって、中国とは何なの？</p> <p>23. コンセプト・デザインとその成果
20年前・30年前の構想が今</p> <p>24. TOPが話す、企業経営にとって「文化」とは何か</p> <p>25. 知的・美的経営、その世界</p> <p>26. 大学のUI (University Identity)、
明治学院と早稲田の場合</p> <p>27. バウハウスの今日的意義</p> <p>28. ソシオ・ユーザビリティというデザイン概念</p> <p>29. デザインを経営に採り入れるって、どういうこと？</p> <p>30. デザインってナーニ、デザイナーってナーニ、
重なる所、重ならない領域</p> <p>31. 建築再成ってどういうこと？</p> <p>32. この国のデザイン政策。どうして「経営のデザイン心の
デザイン」を考えないのか</p> <p>33. デザインから探る文化大国への道</p> <p>34. 最近の公的デザインの表現レベル、これでいいのか？</p> <p>35. 日本の作家型ファッションデザイン、
中国の産業型ファッションデザイン</p> <p>36. 国際的知財権劣国 日本の巻き返しはあるか</p> <p>37. 突出、韓国SAMSUNGのデザイン政策と戦略</p> <p>38. デザインは果たして受け手発想になっているの？</p> <p>39. 含蓄、「ワインのラベルデザイン物語」</p> <p>40. 世界初「身体機能強化・補助ロボット《サイバニクス》」
はここまで進化した</p> <p>41. コンセプトデザインの範「ベネッセアートサイト直島」、
経営にどこまで寄与？</p> |
|--|---|

他にあなたがお聴きになりたいテーマ

お名前・ご連絡先

Fax

e-mail